



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

98.3.20 No. 4755

強制配転粉碎、反合・運転保安確立

JR貨物の超低額回答を許すな!

98春闘第二波闘争に総決起を

第一波ストライキを貫徹 九六名がストに起つ 千葉支社抗議行動・駅街宣に二百名 三四〇名の結集で総決起集会開催

九八春闘第一波闘争は、三月十九日営業・検修の仲間九六名のストライキの突入を中心に終日闘いぬかれた。(詳細次号)

午前十時半の営業の仲間のスト突入を皮切りに順次ストライキに突入した組合員は、十四時に千葉市民会館小ホールで営業関係・スト突入者全員集会を開催した。さらに十六時より二百名で千葉支社抗議行動と千葉駅前「ベテラン運転士を職場に戻せ」と大街頭宣伝を行った。そして十八時から市民会館小ホールで、九八春闘第一波スト貫徹動労千葉総決起集会を三四〇名の結集で開催し、今春闘の意義を確認するとともに営業の仲間をはじめとした闘う決意を全体のものとした。

この第一波闘争に引き続き、来週の貨物会社の賃金回答段階での第二波闘争に全組合員が総決起しよう。

強制配転粉碎、反合・運転保安確立、闘いの突破口ひらく

動労千葉は今春闘を、①大幅賃上げ獲得とりわけJR貨物の超低額・格差回答―ベア・ゼロ攻撃粉碎と五五歳以降の賃金改善・年金に応じた定年年令の引き上げ、②強制配転者の原職復帰・運転士有資格者の登用、③運転・保安確立、④動乗勤改善(貨物)―構内全面外注化(東日本)阻止、などの課題をかかげて闘いに突入している。

とりわけ強制配転者の原職復帰・運転士有資格者の登用は、分割・民営化過程からの課題であり、JR総連・革マルと当局の結託体制を打ち破る闘いでもある。またそれと表裏一体の問題である安全、運転保安の確立もはや一刻の猶予もならないところに着ている。これから夏にかけて、強制配転されている仲間の奪

い還す闘いに総決起しよう。

貨物会社のベ・アゼロ攻撃を許すな、大幅賃上げの獲得を

さらに九八春闘では、貨物会社のベ・アゼロ攻撃をはねかえし、大幅賃上げをかちとろう。貨物の昨年へのベ・アはわずか千円だった。ことしはベ・アゼロすら公言してはばからない状況だ。分割・民営化の矛盾が集中する貨物会社は、ベ・アにおいても期末手当に於いても東日本との間で大きな格差が続いている。こうした労働者への犠牲の転嫁

を許すことはできない。超低額・格差回答―ベ・アゼロ攻撃を打ち破るため、第二波闘争にたちあがろう。日貨労は、こうした情勢にもかかわらず「会社が国労にケジメさえつければ骨身を削る(書記長緒方)」と春闘そっちのけで国労攻撃を激化させ、六千人体制の推進者となりはてている。職場の怒りは沸騰点に達している。第二波ストを闘いぬこう。

その上に、五五歳以降の賃金改善(減額なし、定昇の実施)をかちとろう。年金支給年令にあわせた定年の引き上げをかちとろう。今春闘は、労働者が生きていくための切実な課題が山積みされている。「春闘元年」にふさわしい闘いで、こうした課題を一步一步闘いとう。

第二波闘争を貨物・検修のストを先頭に、千葉機関区で開かれる総決起集会に全支部から結集し、九八春闘の諸要求の獲得に全力で闘いぬこう。

98春闘 第二波闘争

争議対象者

- ①千葉機関区、新小岩派出の全地上勤務者(本線乗務員の予備勤務者を含む)
- ②習志野電車区、幕張電車区(除く木更津支区及び派出)、京葉電車区的全組合員

98春闘勝利、貨物格差粉碎第二波スト貫徹、動労千葉総決起集会の開催

日時 第二波スト当日
16時より18時

場所 千葉機関区構内

参加者 勤務以外全組合員